

④勤続10周年・20周年・30周年の節目に、リフレッシュ休暇の取得促進を図る。

⑤職員やその家族の誕生日、結婚記念日等の家族の記念日における年次休暇の取得促進を図る。

⑥ゴールデン・ウィークや年末年始期間における公式会議の自粛を行う。

◎以上のような取組を通じて、職員1人当たりの年次有給休暇の取得日数の目標を12日間（年間20日年次休暇の60%）とする。

ウ・子どもの看護を行う等のための特別休暇の取得の促進

子どもの看護休暇等の特別休暇を周知するとともに、その取得を希望する職員に対して、100%取得できる雰囲気醸成を図る。

（6）職場優先の環境や固定的な性別役割分担

意識等の是正のための取組

（実施時期：平成18年度から）

①職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正についての情報提供や意識啓発を行う。

②セクシャルハラスメント防止のための情報提供や意識啓発を行う。

2. その他の次世代育成支援対策に関する事項

（1）子育てバリアフリー

（実施時期：平成18年度から）

子どもを連れた人が気兼ねなく来庁できるように、適切な応対対応等ソフト面でのバリアフリーの取組を促進する。

（2）子ども・子育てに関する地域貢献活動

（実施時期：平成18年度から）

ア・子どもの体験活動等の支援

①子ども・子育てに関する活動等の地域貢献活動への職員の積極的な参加を支援する。

②子どもが参加する地域の活動に敷地や施設を提供する。

③子どもが参加する学習会等の行事において、職員が専門分野を生かした指導を実施する。

イ・子どもを交通事故から守る活動の実施や支援

①交通事故防止について綱紀粛正を促す。

②交通安全週間等における街頭指導等の地域活動への積極的な参加を図る。

ウ・安全で安心して子どもを育てられる環境の整備

子どもを安全な環境で安心して育てることができるよう、地域住民等の自主的な防犯活動や青少年非行防止、立ち直り支援の活動等への職員の積極的な参加を支援する。

（3）子どもとふれあう機会の充実

（実施時期：平成18年度から）

職場内レクレーション活動の実施に当たっては、職員の子ども等家族全員が参加できるように配慮する。

副議長に山本悟氏



鬼北町議会副議長の山崎保氏からの辞職願を11月10日付けで受理し、12月12日開催の平成18年第4回鬼北町議会定例会において、副議長選挙を行い、山本悟氏が選出されました。

【お詫び】

議会運営委員会委員長の松田八重子氏からの辞職届を受け、7月24日開催の同委員会、委員長に山本悟氏を選任しました。

報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。